



## 鹿児島の認定企業等

### ● ユースエール認定制度（県内11社認定）

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。



### ● くるみん・プラチナくるみん認定制度

(\*県内プラチナくるみん2社・くるみん33社)

仕事と、育児や介護などの家庭生活との両立支援に積極的に取り組み、男性の育休取得など、一定の基準を満たした企業を、厚生労働大臣が認定する制度です。



### ● えるほし認定制度（県内2社）

女性の活躍に積極的な取り組みを行っており、女性の採用や継続就業の割合など、女性の活躍に関する一定の基準を満たした企業を厚生労働大臣が認定する制度です。



### ● かごしま子育て応援企業制度（県内424社登録）

鹿児島県では、企業の子育て支援を促進するため、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業を「かごしま子育て応援企業」として登録しています。



## 鹿児島の企業情報等検索サイト(行政)

### 1 ハローワークインターネットサービス

<https://www.hellowork.go.jp/servicel/130020.do?action=initDisp&screenId=130020>

### 2 かごJOB（鹿児島県）

<https://kagojob.com/kagojob/index.php>

### 3 女性の活躍推進企業データベース

[http://positive-youritsu.mhlw.go.jp/positivedb/search\\_res](http://positive-youritsu.mhlw.go.jp/positivedb/search_res)

### 4 鹿児島の職場（キャッソワーク）

<https://www.c-work-kagoshima.jp/companylist/>

### 5 働き方・休み方改善事例

<http://work-holiday.mhlw.go.jp/case/index.php>

### 6 鹿児島市しごと情報ナビ

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/shigotonavi/index.html>



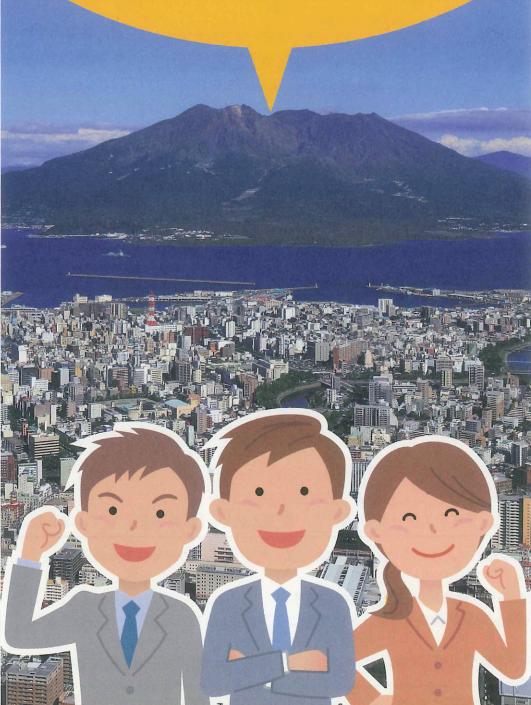
## 「鹿児島のよりよい雇用・労働環境実現に向けた政労使会議」参加機関

- ・鹿児島県商工会議所連合会
- ・鹿児島県経営者協会
- ・鹿児島県中小企業団体中央会
- ・鹿児島県商工会連合会
- ・一般社団法人鹿児島県銀行協会
- ・鹿児島県銀行业协会
- ・鹿児島県税金連合会
- ・南日本銀行
- ・日本労銀組合総合会鹿児島県連合会
- ・経済産業省 九州経済産業局
- ・鹿児島県
- ・鹿児島県教育庁
- ・鹿児島市
- ・鹿児島大学COC+推進部門
- ・(独)芸術・障害・求職者雇用支援機構
- ・鹿児島労働局(編集・発行)

発行: H30.2.28

# 鹿児島で 働く

## ということ



この企画は、「鹿児島のよりよい雇用・労働環境実現に向けた政労使会議」（参加機関は裏面）で決定されたものです

# 鹿児島で働く魅力とは…！



## 鹿児島で働く魅力について

鹿児島県の企業の大多数は、従業員300人未満の中小企業であり、本県の経済をけん引するとともに、雇用の場として、大きな役割を担っています。鹿児島には魅力的な中小企業が数多くあり、中小企業ならではの働きがいもあります。

### 働きがい1 マルチプレイヤー

大企業では、業務が細分化されていますが、中小企業では、1人でいくつもの役割を担う場合が多く、責任も重大。でも、30歳前半で課長ということもあり得るなど、本人のやる気次第で、仕事の可能性が大きく広がり、やりがいにも直結しやすいのです。

### 働きがい2 風通しの良さ

企業規模が小さく、営業所等が少なければ、社長、上司、同僚と日常的に会話ができます。自分のアイデアを社長、上司に伝える機会も増え、また、会社の社長の方針など、直接聞く機会も多いので、日々、刺激を受けています。仕事の悩みなども、社長をはじめ、会社ぐるみで解決してもらえることも…。

### 働きがい3 地域とのつながり

中小企業は、その地域、地域にしっかりと根を張り、地域の方々を支え、支えられてこれまで成長してきています。生まれ育った地元に住む機会が増えるのも魅力です。



## 正社員で就職しよう！

「やりたい仕事が見つかるまでとりあえずアルバイトでいいや」とか、「時間に縛られたくないので、パートでいいや」と、思っている?方、いませんか?

正社員と非正規社員（パート、アルバイト、派遣等）とは、こんなにも労働条件が違うんですよ。緩やかな景気の上昇で、企業の採用意欲も高まってきており、是非とも、正社員で就職し、大きく地元に貢献しましょう。

### ● 賃金カーブ

採用された当初は、そんなに賃金差はありませんが、年齢を重ねることにその差は開き、50歳前半には2倍程度の差があります。



### ● 各種制度の適用状況

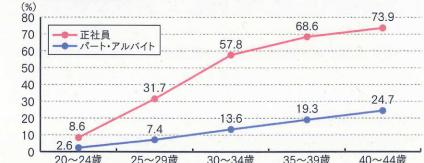
この表を見てわかるとおり、正社員と正社員以外の各種制度の適用状況や、計画的な研修制度等、大きな差がありますね。長年、一生懸命働いても正社員以外の雇用であると、退職金がなかったり、あってもわざわざばかり…という現状です。また、勤務先による研修(OJT)の実施状況も異なり、正社員で就職すると、計画的に実施している企業の割合が高くなっています。

(%)	健康保険	厚生年金	退職金制度	賞与支給制度	計画的な研修
正社員	99.3	99.1	80.6	86.1	59.6
正社員以外	54.7	52.0	9.6	31.0	30.3

資料出所：厚生労働省「就業形態の多様化に関する実態調査」平成26年  
詳細については厚生労働省HP「非正規雇用」の現状と課題に掲載

### ● 男性の雇用形態別の有配偶率

正社員は7割以上の方が結婚しているのに対して、パート・アルバイト等正社員以外の方は2割台。やはり安定的な雇用・一定の収入が得られることは大切ですね。



# 鹿児島と東京の生活をライフステージごとに「見える化」してみました!



## 就職

### 通勤事情

東京の平均通勤時間は1時間30分以上。また、多くの方は満員電車で座れず、また、乗換を行いつつ通勤しています。職場に着いたころにはまたたく間に…。これが、定年まで続きます。一方、鹿児島県は1時間未満、鹿児島市内の一帯を除いて、ほとんどは座って（バス・自家用車）通勤できます。



### 初任給



## 恋愛

### 自由時間

東京は残業の時間や通勤時間が鹿児島より長いので、帰宅時間も遅く、睡眠時間も短くなっています。なので、自由時間も短い状況です。鹿児島は余暇を楽しむいきいき暮らしませんか？



### 週60時間以上働く雇用者の割合



## 結婚

### 鹿児島に住み、お盆や正月に買ひ遊ぼう。東京！

LCC格安航空の就航で、お盆や正月期に鹿児島から東京への往復旅費は1万円というチケットも出回ってきました。東京では意外と安く旅行できますよ！一方、この時期に東京から帰省すると、正規料金が適用され、往復1人8万円、家族4人で滞在費用が50万円かかる…という話も聞かれます。

泣石に東京が高賃金とは言え、家族揃って毎年帰ることは寂しいですね。

### ゆう活（帰宅時間）



## 出産育て

### 飲料水

大都市の多数の方は飲料水を購入したり、浄水器を取り付けるなどして対応しています。人気は、1日1.5㍑の飲料水が必要なので、仮に1本100円で見渡もると、家族4人では1年間で約15万円もの費用になります。

### 保育所等

東京は、保育園に入れない特種児童数が全国トップクラス。また、運よく入園できても、自家用車を持たない家庭が多いので、迎送は自転車やバスでとっても大変。何時も車を待たないでいい…。東京23区平均の駐車場料金平均3万5千円！なんですね。

### 合計特殊出生率



## 住宅購入・家計

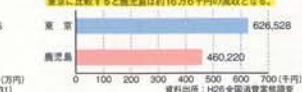
### 実収入・実支出

25歳未満の居住者の1ヶ月家賃の平均は、東京は62,262円、鹿児島は37,749円と24,513円もの差がある上に、東京は通勤時間が1時間以上かかる場所がほとんどです。

新築マンション（70m<sup>2</sup>）価格も、東京の平均はなんと約7,200万円。一方、鹿児島は約3,000万円。このような事から、持ち家率も圧倒的に鹿児島が高い状況です。

給与が高くとも、家は狭く、通勤時間も長い…。これが東京の現実です。

### 新築マンション（70m<sup>2</sup>価格）



## 退職後

### 住みよい鹿児島

東京は刑法犯・窃盗犯とも数が多く全国で3位となっています。比べて鹿児島は41位と治安が良いことが分かります。また、病院数は人口10万人あたり、東京は4.4施設、鹿児島は3.7施設と全国屈指の病院数を誇ります。回春施設も多くの東京29.9施設に対し鹿児島は3.7施設と退職後も暮らしやすいことが分かります。

### 図書館数



## 鹿児島に住んでいると気づかない鹿児島の良さ

就職を考えるにあたり、ここでは「鹿児島に住み働く魅力」について、ライフステージを通して、東京と比べ「見える化」してみました。

東京は収入面では恵まれています。また、娯楽等、若者にとって刺激的な魅力にあふれていますが、生活費、教育費等、相当な経費も必要です。

また、洪済や混雑等、生活環境の問題等、数多くのプレッシャーもあります。

一方、鹿児島には、お金だけではない、自然・人間関係・食・住環境等々、教えてくれない魅力があります。

また、仕事面でも、都市部の大企業では希薄な、家族的なぬくもり、地域への貢献等のやりがいが鹿児島の企業にはあります。通勤ラッシュもなく、通勤時間も都会の比ではありません。

若い皆様には、そのあたりの実感は湧かないでしょうが、現に、Uターンで地方に戻ってきた方々へのアンケートでは、「家族で夕食を食べる頻度が



鹿児島は住むところ、東京は遊びに行くところ、そんな生活も考えてみませんか？

増えた」「余暇の時間が増えた」等、相対では地方でのゆとりある生活がプラスの評価となっています。

そのような環境も反映してか、東京の女性の未婚率は19.20%、鹿児島は14.69%、また、結婚後の出生率は、東京1.24人、鹿児島1.68人となっており、恋愛・結婚・育児には厳しい環境と見えそうです。

いやいや、そうであっても、コンサート、テーマパーク、ショッピング等、東京に住み働く魅力は計り知れない…と、言っているあなた！以前は東京に行くのにも、相当な旅費がかかりましたが、現在はLCC格安航空の運航や先割等もあり、東京にも片道1万円以下の格安旅費で行くんですよ！

一方、東京に住み、お盆・正月に帰省するとなると、ピーク料金が適用されますので、家族4人で帰省費用が50万円！というのも普通なのです。

